

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路用地管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	08	02	03	01	55
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	小野 満寿夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路事業用地等	意図	道路事業用地等に対して、安全・環境衛生等に留意し、適正に管理する。
事業内容	道路事業用地等の適正な管理を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	道路事業用地等は、適正な管理を実施している。業務内容に大きな変化はない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	草刈り業務委託	5,472	6,500	5,290	m ²	↓↓↓
②	防護柵設置工事	92	92	27	m	↓↓↓	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
草刈等による管理は、適正に行われている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,251,496	3,004,800	3,186,600
事業費(b)(円)	1,221,746	1,998,000	2,197,800
うち一般財源	1,221,746	1,998,000	2,197,800
職員給与費(c)(円)	1,029,750	1,006,800	988,800
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	現場土地利用状況に応じた草刈の実施。	③取組における課題(Check)	管理費用を軽減するための対策工法の検討。
②H30に実施した取組(Do)	現在管理している道路用地については、早期着工が困難な状況であることから、適正な管理に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	現場状況に適した管理対策工法を選定し、管理費用の節減を図る。